



福山民報社  
福山市津之郷町  
津之郷 970-1  
Tel.084-952-2662  
FAX084-952-2660



# 子どもや親の個人情報 収集、何のため!?

福山市は、「貧困や虐待などにつながる子どもや家庭の異変」を早期に見出すためとして、子どもの様々なデータを収集・整理・分析する事業を始めます。

これは、岸田政権が検討している「子どもデータベース」と同じ仕組みです。政府は、子どもや家庭の個別の情報を集めてデータベースをつくり、支援が必要な子どもや家庭を把握して、プッシュ型で支援につなげるとしています。対象となる情報は、子どもの成績や健康状態、悩みごとや発達障害の有無、保護者の就労や生活保護の利用、水道料金や給食費の滞納の状況など多岐にわたる項目が議論されています。児童虐待のデータを人工

知能AIで分析して、緊急性などを判断する統一ツールの開発も進めています。

## プライバシーの かたまり

子どもや親のプライバシーに関わる情報を収集・活用することは人権侵害につながる危険があり、一時期の状況だけで家庭のリスクを判断すれば偏見を助長する可能性もあります。

政府の会合でも、これらの情報は「プライバシーの塊」であり、「国民の理解を得ることが当然、何より重要」と指摘されています。個人情報保護の観点から「成績やメンタルなど個人の資質を自治体内部で共有することは許されるか」との懸念も示されています。

## 職員を増やして

福山市はデータを分析し、子どもの「非認知能力」を明らかにするといいますが、非認知能力とは、意欲や自制心、やり抜く力、社会性、自律性などとされています。子どもの内心が調査され、教職員などの負担も増える恐れがあります。

また、「課題が表出していない段階で予防的な支援につなげる」としていますが、保護者が監視、管理されていると感じれば、かえって必要な支援が届かなくなる可能性もあります。人権を侵害しかねないデータ連携やAI判定に前のめりになるより、教育や福祉、医療にかかわる職員を抜本的に増やし、専門性を高めることこそ重要です。子育て支援制度や相談体制を充実させて使いやすいものにし、子育て世帯の生活基盤の安定や教育無償化などの政策を強化することに力を入れるべきです。

## 「身を切る改革」?

# 政党助成金の廃止こそ

国会議員に毎月100万円が支給される「文書通信交通滞在費(文通費)」。

維新の会が槍玉にあげ、日本共産党に対して「黙って受け取っている」と事実無根の攻撃までしました。日本共産党は30年来、文通費の抜本的な見直しを求めており、何に使ったかも公開しています。先の法改正については、日割り支給は賛成ですが、使途の公開や返納のルールを協議せず名称と目的を変えるものであるため反対しました。維新の会は「身を切る改革」と言いながら、不十分な法改正に賛成しました。そもそも身を切るなら、議員一人あたり月300万円超の「政党助成金」の受け取りこそ、やめるべきです。政党助成金は、広島県で大規模な選挙買収をした河井元法相らに自民党本部が

提供した資金に使われるなど、民主主義を壊し、政党を堕落させる制度です。

政党助成金の問題について、日本共産党の、にひそうへい前参院議員が投稿した記事を紹介します(フエイスブックから抜粋・一部編集)。——この際はつきりさせるべきは、国会議員・政党にかかわる税金の最大の無駄づかい「政党助成金」ということです。日本共産党は一貫して廃止を主張し、受け取っていません。政党助成金は年間総額で320億円に上ります。日本の人口かける一人あたり「250円ずつ」という計算で予算化されます。赤ちゃんも、特定政党を応援していない人も、強制的に献金させられる、思想信条の自由

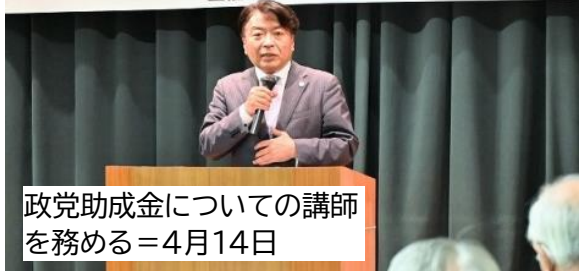
憲法に違反する制度です。

「企業団体献金をやめる代わりに」と導入されましたが、それは反故にされ、「右手で企業団体献金、左手で政党助成金。だから国民からのカンパを受け取る手がない」共産党は両手とも空いています(笑)。(市田忠義副委員長の名演説)。

維新の会は、巨額の政党助成金を受け取り続けてきました。「黙って受け取っている」のはどっちですか。私は、こんな国会をシャットしたい。みんなを代表してきちんと話し合い、最良の道を見いだす。それが本来の国会です。主役は私たちです。

## 「身を切る改革」と「政党助成金」 について考えるつどい

主催: 平和・民主・革新の日本をめざす熊本



政党助成金についての講師  
を務める=4月14日

にひそうへい (仁比 聡平)  
日本共産党前参院議員/参院比例候補